

広報

あいかわ

3 2005
月号
No.560

最終号

君のハートよ
位置につけ

2007 第62回国民体育大会

秋田わか杉国体

合川町はフェンシング競技の開催地です



子どもは、地域の宝です

(合川保育園)



町議会3月定例会

行政 報告

3月定例会、2月22日から25日まで開かれました。定例会初日の本会議で、佐藤修助町長が行った行政報告のあらましは次のとおりです。

町制施行記念式典・ 閉町式は3月18日に

合川町議会12月定例会以降の行政の取り組みの主な事項及び今後予定している事項や取り組むべき課題について報告します。

第16回鷹巣阿仁地域合併協議会は、1月24日、当町農村環境改善センターで開かれ、「合併協議会の廃止（3月21日）」「特別職の報酬」などの案件について、協議と報告が行われました。次回協議会は、3月11日に鷹巣町で開かれ、最終協議となる予定です。

新市の職員配置については、2月14日に人事異動についての内示を行い、各庁舎間の事務機器の移動等についても協議が進められています。現合川町役場は、「北秋田市合川支所」として40人の職員態勢になりま

すが、「総合支所」として、従前同様のサービスができることを目標にして、本庁支所間の事務調整が行なわれています。診療所、保育園、保健センター、公民館、学校給食は、本庁等で管轄する組織となり、ほぼ現在と同じ数の職員が配置されま

す。また、公立合川高校が「北秋田市立合川高校」となることや、広域消防分署が「北秋田市消防本部合川分署」になることに伴う人事についての内示も、同時に行っています。

なお、こうした事務体制や市民サービスの内容などを紹介する「北秋田市ガイドブック」が、3月中旬には全世帯に配布される予定です。また、新市では、当町地域にも「行政協力員」が配置されることになっていきますので、さらに地域活動との密接な連携が図られるよう意を注いでいきます。

本定例会には、4町合併に伴う広域行政組織の解散や再編等に関する11議案と、合併前に合川町として整備すべき条例の改廃等の議案を提出しています。

合川町の「閉町式」は3月18日（金）の午後に予定し、同日午前には「合川町町制施行50周年式典」を開きたいと考えて、関係機関との調整を進めています。

降り続く大雪で5年ぶりに豪雪対策本部を設置

2月15日、役場各課長等

と消防団長を部長に組織した「合川町豪雪対策本部」を設置しました。町防災計画に定める雪害についての災害対策本部の設置は、「大野台地内で1メートル以上の積雪」とされていますが、同日の観測では1・18メートルで、人的災害の防止を最優先に、町民生活に支障が生じないように連携した対策を講じています。

当面、交差点の見通し確保などの道路安全対策、児童生徒への安全指導などを行っています。2月17日には、全世帯に協力要請のチラシを配布し、全町的な取り組みの喚起にも努めています。

秋田内陸鉄道の今後のあり方を検討する「沿線地域交通懇話会」は2月9日、3月15日に予定されている次回協議で、一定の結論をまとめることにしています。懇話会は、沿線町村長のほか秋田県建設交通部長、地域商工団体代表、経営機関代表によって構成され、国土交通省からの2人のアドバイザーを加えて、主に内陸線の経済効果についての検討が行なわれてきました。

これまでの懇話会では、「内陸線の社会的な存続価値は大きい」との共通理解に立ちながらも、県と沿線町村の経済的支援策については「見直し」を求める発言もありました。また、地域計画との関連や利用促進策などについて沿線地域の協議を深める必要があるとの認識から、2月9日、沿線8町村長による「協力組織」を発足させ、さらに存続に向けた協議を重ねることが確認されています。

新市の平成17年度予算については、4町それぞれの6月までの義務的経費を積み上げて暫定予算とし、さらに市長選挙後に提案される通年予算の編成を円滑に進めるための事務的な準備作業を重ねています。

希望に満ちた新市の誕生に向けて、住民サービスを低下させないとの基本姿勢でまとめられてきた4町の合意事項を踏まえた予算編成が進められておりますが、臨時財政対策債が対前年比で23パーセントのマイナスになる見通しであることなど、地方財政を取り巻く環境は必ずしも樂觀できるものではありません。国が三



5年ぶりの大雪に
除雪車はフル活動



秋田国体まであと2年。
(写真=町体落成フェンシング大会)

誰でも話し合い交流できる場に「社会福祉協議会」

いても継続されることが確認されており、地域の自助努力を踏まえながら、市民と行政の「合川支所」を基点とした活動の充実についても配慮に努めます。

合川町社会福祉協議会の新しい事務所が完成し、1月29日、竣工式が行われました。地域の少子高齢化の進行に伴い高齢者福祉に対する要望は多様化し、福祉サービスの拡大が、より一層求められている昨今の情勢にあつて、社会福祉協議会が果たす役割と期待は、大変大きいものがあります。圏域の福祉活動の推進

平成16年12月末現在で440人(昨年度同期より36人の増加。内訳は、要支援66人、要介護1が108人、要介護2が57人、要介護3が70人、要介護4が61人、

拠点として活用され、さらに充実した地域福祉のあり方を求めて、役職員が一体となつて努力されますことを確信しています。

なお、同事務所前の空き地を、地域のふれあいの場として活用したい考えで遊具等を設置する環境整備工事を進めています。児童からお年寄りまでが交流できる広場となり、福祉についての理解が深まる出会いの場となりますことを期待しています。

要介護5が78人)が介護認定を受けています。この内、在宅介護サービスの受給者が221人、施設介護サービス受給者が97人で、介護認定者中72パーセントにあたる318人の方が、何らかの介護サービスを受けています。

公立米内沢病院の常勤医は現在13人(昨年より2人減)で、特に泌尿器科医、消化器科医、循環器科医が不足しており、加えて、精神保健指定医が3カ月交替と不安定な勤務体制であることから、引き続き医師確保に努力することになっています。

統合病院については、病院統合準備室などで平成21年4月の開設に向けた調査・試算等が行われていますが、具体的な内容については新市発足後に協議されるものと考えています。

鷹巣町外六カ町村衛生施設組合のし尿処理の状況は、平成16年度上期の搬入量は1万9,004・4キロリットル(前年対比1・62パーセント減)で、一日平均処理量は103・8キロリットル(し尿1万2,495・6キロリットル)

65・8パーセント 浄化槽汚泥6,508・8キロリットル(34・2パーセント)となつています。環境保全については、定期的な分析結果(放流水質、排ガス、ダイオキシン類など)で、管理基準値を大きく下回っており、適正で安定した処理が行われています。

森吉町外二カ町村生活環境施設組合長下処分場の平成17年1月までの搬入量は997・69トン(前年対比1・3パーセント増)でした。特に集中豪雨、台風による搬入量が大幅に増えています。また、ダイオキシン類等の環境調査については、基準値を大きく下回っています。

平成14年10月1日の老人保健法改正により、現在の老人医療の対象者は「昭和7年9月以前に生まれた方」と「65歳以上で一定以上の障害がある方」になつています。当町では、資格を喪失する方(死亡や転出など)と比べ、新たに資格を取得する方(転入者や65歳以上で障害がある方など)が、少なくなっており、平成16年12月末現在の受給対象者数は1,688人(前

「心の健康づくり事業」成果が出ています

年対比96・5パーセント)で、医療費(平成16年3月から11月診療分まで)は前年対比97・6パーセントでした。

今年度は健康課題の早期把握対策として秋田大学医学部保健学科との共同研究で「更年期女性の健康調査」を実施しました。また、食生活改善推進員の協力を得て、独り暮らし男性と85才以上の高齢者を対象に食生活に関する調査を実施いたしました。結果については、県の看護学会、町の「ナイスミディセミナー」や「ボランティア連絡会」などで報告し、健康教育や保健活動計画に活用されています。

県のモデル事業として3年間実施された「心の健康づくり事業」の事後分析では、当町の自殺率は平成9年度をピークに次第に減少し、この2年間は全国平均並みに横ばいとなっていることが示されています。モデル事業終了後の、町民の「心の健康度」と「事業評価」に関して、12月に婦人

会の協力で調査を行い、現在、秋田大学医学部社会環境医学講座で解析作業が行われています。

「共生のまちづくり助成事業」による機能訓練室の整備でスタートした「高齢者の介護予防教室」は、これまで31人が参加し、週2回の訓練が行われています。現在、さらに参加希望者が増加し、利用待機者がいる状況で、受け入れスタッフの充実や送迎などについての要望も多く、検討すべき課題と考えています。

町ではこれまで、健康増進法に基づいて、ヘルシークラブ・ダンディ倶楽部・歩こう会・食生活改善推進員・ふれあい相談員などの健康づくり実践グループへの支援を行ってきました。

これらの団体は、組織間の連携が図られ、外部に向けた健康づくり普及活動が報道機関に取り上げられるなど、しだいに地域に根ざした活動となつています。それぞれに自主組織としての活動が定着し、さらに参加者の拡大に期待しています。

町の母子保健活動では、

これまで乳幼児健診、育児相談、母子グループ活動を通して健全な子育て支援などを行ってきました。社会問題になっている「幼児虐待」については、保健、福祉、医療、教育の各機関が連携して、初期段階からの対応が図られています。住民の日常的な見守りが、こうした各窓口と、できるだけ早く結びつくことが的確な支援策につながるケースが多く、今後とも情報ネットワーク活動の充実を呼び掛けていきます。

首都圏合川会から 町に福祉寄金

1月22日、都内（アルカディア市ヶ谷）で首都圏合川会の総会と親睦会が開か



この町の冬の魅力も全国へ
（北欧の杜ウインターゲーム）

れました。第40回の節目となった今回の総会は、4町合併により町名が無くなることから、さようなら合川町、合川町の旗の下、合川町民歌を高らかに、この呼び掛けで開かれ、過去最高の約2000人の集いになりました。町関係者では町議会議員16人を含む33人が参加しており、和田吉次会長のあいさつなどでも、市町村合併と地域の未来についての説明をいただきました。参加者からは、一層、心のきずなを大切にしたいとお話が随所で聞かれました。

町に対しての「福祉寄金」の贈呈と、70歳以上の会員への敬老記念品の贈呈が行なわれ、歌手の由紀さおりさんによるトークショーで

は、童謡を会員と一緒に歌う場面もありました。会場には、町特産品の比内地鶏を使ったきりたんぽや、おやきなど、たくさんのおふるさとの味が並べられ、会員の皆さんが懐かしい味に舌鼓を打ちながら、ふるさと談義に花を咲かせていました。

なお、1月13日には、サンシャイン合川で町商工会・JAあきた北央・町の主催による新春交流会が開かれ、町内各層から136人の参加をいただきました。

集落推進費支払対象面積は409・8ヘクタールでした。

12月17日、県から平成17年度の同制度による目標数値が提示され、当町の作付配分面積は、13ヘクタールの増加になりました。2月8日の合川町集落水田農業推進協議会で各農家への配分方針についての確認をいただき、集落座談会などを通じて、できるだけ農家所得の維持に寄与させたいと考えて制度の周知に努めています。

平成16年度の水田農業構造改革交付金制度（産地づくり対策）の水稲生産調整では、当町の作付配分面積に対して100・2パーセントの実績になりました（作付配分面積902・3ヘクタール。作付実施面積900・2ヘクタール。生産調整不参加農家への配分面積11・9ヘクタールを含む）。作目別面積は、重点作物114・3ヘクタール、振興作物8・8ヘクタール、地域特産物6・0ヘクタール、景観作物17・7ヘクタールなどで、団地等の集積面積は99・2ヘクタール、

ます。

合川浄化センター 完成間近

林道の災害復旧事業は2路線で高率補助（補助率77・1パーセント）が適用になりましたが、4月以降の工事もあり、繰越手続き終了次第、発注を予定しています。

上水道事業は、昭和63年に合川町上水道事業としての経営許可を受け統合簡易水道施設整備事業で建設改良工事を進めています。16年度末の進捗率は56パーセントとなる見通しですが、今後は新市で事業を推進することになります。今般、県から起債等の取扱いについての指導があり、簡易水道事業債は、国の補助金の呼称に関わらず、その事業認可が簡易水道事業認可のある事業に充当することとされ、森吉山ダムからの給水開始まで、ダム建設工事負担金を含めた建設改良事業は、簡易水道施設事業として特別会計に移行し、経理することになりました。このため、本定例会には関連した条例廃止案件を提出しています。

本年7月1日の公共下水道一部供用開始に向け、1

月11日から28日までの間の6日間、関係3集落の住民説明会を開きました。下水道に対しての理解を深めていただき、事業推進の協力をお願いするために、浄化センターの汚水処理の仕組みや管路系統と今後の工事予定箇所などについてお知らせし、宅内配管工事の概算費用、汲み取り便所の改造義務、資金的援助制度、使用料金の設定などについても説明し質疑が交わされました。特に、地域の環境を守るため水洗化の普及は不可欠であるとの地域要望から、改造工事等に対する融資あっせん和利子補給を行なうことにしています。なお、浄化センターは完成間近、試運転調整に入る段階となりました。また、管渠工事等は繰越手続きを行い、発注する予定です。本定例会には、月額使用料の基本料金を10立方メートルあたり1、365円（消費税抜き1、300円）とするなどを内容とする合川町下水道条例案を提出しています。

17年度の町内小学校の新

入学児童数は53人（昨年度より3人増）の見込みです（東小学校20人・西小学校9人・南小学校7人・北小学校17人）。就学時の健康診断・知能検査も終わり、現在、入学案内の手続きを進めています。恵まれた自然環境の中で、子どもたちの「生きる力」を大切に、関係機関の一致した取り組みに意を注いでいきます。

冬休み、まどびの里子ども自然村は、県内8人・県外23人の参加者を迎え、12月26日から12月30日まで（4泊5日）の日程で開かれました。受け入れ農家は10世帯で地元ボランティアの協力もいただき、子どもたちの心に大きな収穫をもたらして終了することができました。この短期山村留学に参加した子どもたちへの成果から、1人でも多くの長期山村留学につながることを期待し、努力します。

生涯学習、さらに力を入れていきます

合川町としての最後の成人式は、1月4日、70人が出席して（該当者80人）、

厳粛な式典が挙行されました。県北地域で活動する音楽グループ「ダックスムーン」の講演が行われ、ふるさと合川を再認識しながら大人として歩みを始めたいとの企画に心からの激励を申し上げました。

生涯学習講座の冬期分として、そば打ち、刺し子、フラワーボックス作製など、7つの主催講座を開いています。また、2回の「ろばた講座」も多くの参加者が集まり、意欲あふれる学習風景になっていきます。町民の意欲をとらえた企画に意を注いでいますので、今後こうした学習の輪の広がりを期待していきます。

町民体育館は、12月末に増改修工事が完成し、1月11日から利用が始まります。

記念行事として、1月15日、県内8中学校の選手を招いたバスケットボール大会を開き、100人ほどの応援席の方々とともに、国民体育大会の受け入れ会場になる施設の完成を喜び合いました。1月21日には、わらび座の「わくわくコンサート」が開かれ、保育園

児からお年寄りまでの約300人の参観者が、和楽器の楽しさを満喫することができました。さらに、フェンシングやバスケットボールの大会等が開かれており、一般利用も含めて、健康と文化の拠点施設として活用ください。

医療の充実を図ります

診療所の1月末までの外来利用者は、前年対比で15・6パーセントのマイナスで、外来収入については5・7パーセントのマイナスになっていきます。これは国の医療制度の見直し、薬の長期投与による受診回数の減少などによる影響が大きいものと考えられています。

このような状況にあつて、今年度は往診車を更新するなど、地域の高齢患者の増加傾向に対応した地域医療の充実に努力してきました。現在、往診（月平均10人）、医師による在宅患者訪問診療（月平均41人）、看護師による在宅患者訪問看護（月平均15人）、老人施設（対象者65人）の嘱託医としての活動などが行なわれていますが、引き

3月定例会 可決になった議案から

■合川町下水道条例について

町の公共下水道が平成17年7月1日から供用開始するに伴い、その料金や指定工事業者の届出などについて定めました。

■合川町公民館設置条例の改正について

町東地区公民館を廃止し学校施設として利用することにしました。

■施設の廃止について

町民テニスコートと廃止しました。また、駅前児童館も廃止することになりました。

■基金条例の廃止について

合併に伴い、基金等を調整することになり当町の6つの基金を廃止することになりました。

■合併に伴う広域行政組織の統廃合について

鷹巣阿仁広域市町村圏組合の解散、公立合川高等学校組合の解散、森吉町外四ヶ町村病院組合の組織変更などの11議案を議決しました。

■一般会計補正予算について

合川町特産品販売補助金2、225万円、合川町体育協会補助金1、000万円など、歳入歳出5、696万円を追加し、予算総額は52億1、737万円になりました。

平成8年度分割発注の判決に基づき補正予算

町が平成8年度に実施した羽根山地区の農業集落排水工事について、3分割の工事発注は違法であるとして、掛かり増しになった工事費を、当時の町長 金田陽太郎氏に対して損害賠償を求める裁判について、12月22日、原告団勝訴の判決があり確定しました。3月定例町議会で可決された補正予算には、その賠償金876万1、407円の歳入と、国県への返還金、地方自治法に基づく弁護士費用の一部の報償費の歳出が盛り込まれています。

森林や動物を大切に

杉 淵 幸 哉 さん
(松ヶ丘・合川北小学校5年)



今年、合川町はほかの町と合併して新しく北秋田市という市になります。僕は、北秋田市がどんな市になってしまふのか、心配です。そこで僕は、こんな市になってほしいという願いを考えました。

まず、ビルとかはあまり建てないで森林や動物を守ってあげたいと思います。そして市のマークは北秋田市とすぐにわかるようなマークにして北秋田市の中心や、ここから北秋田市という場所につければいいと思います。そして、ちゃんと北秋田市の行事や祭りなども考えて、ほかの県や国からきた人をやさしくむかえてあげて、いろんな人たちがすぐになじめて森林がたくさんあって、ほかの動物も楽しくくらせるようないい市にしたいと思っています。

新しい街になっても

木 村 友 祐 さん
(李岱・合川西小学校6年)



ぼくは、合川町が合併して北秋田市になるのが楽しみです。それは町が市になることで行事などが変わるからです。これからどんな行事があるかを考えるとわくわくしてきます。また、いろいろな施設も利用できるのも市民の交流が増え、明るく元気になっていくのではないかと思います。そういう明るい市になるのも楽しみです。

でも少し不安なこともあります。今まで町ごとに受けてきた文化や伝統がどうなるかです。李岱でも奴踊りなどの郷土芸能をやっています。これはみんなで守り続けてきたのですが、僕はこれからはこの地区に残ってほしいと思います。その町や地区ごとの伝統やよさを忘れずに守ってほしいです。新しい市になっても合川町のよさがずっと残ればいいと思います。

信じられる街に

松 橋 千 夏 さん
(三里・合川南小学校6年)



今は、合川町が合併するという実感がありません。北秋田市になるとどう変わるのかわからないけれども、みんなが安心してくらせる街になってほしいです。大きい市になっても、小さなことまで目を配り、事故や事件などがなく安全な街、お年寄りも子供も、みんなが一生を幸せに過ごすことができ、信じられる街になってほしいです。

また、合併する四町にはそれぞれの文化や祭り、観光所などのよさがあります。合川町にも「あじさい公園」や「北欧の杜」、「まどび」などを残してほしいものがあります。合川町がなくなるのはさびしいけれども、四つの町が協力していい北秋田市ができると思います。

誰もが住みよい市に

金 夏 望 さん
(弥栄・合川東小学校6年)



私が生まれるずっと前からある「合川町」。その名前が消えるのはさびしいけれど「北秋田市」となって新しくスタートすることが楽しみです。

北秋田市が子供からお年寄り、だれもが住みよい市になってほしいと思います。そのためには福祉の気持ちをもつことが大切です。施設やバリアフリーはもちろん、私は障害のある人と自然に接することができるところをつくってほしいと思います。

北秋田市にはたくさん自然があります。その自然の中に一年中だれもが楽しく遊べる大きなドームをつくり、日本中の人が空港を利用して集う場所になったらすてきななあと思います。元気が出る市にしたいです。

未来の北秋田市へ

畠 山 郁 未 さん
(松ヶ丘・合川中学校2年)



今年、合川町は合併し、北秋田市となります。合併しても合川町の良いところは大切に守りたいと思います。

お盆に行なわれるマトビ。皆と一緒に踊る通り踊り。夜になると、川のほとりに火が灯され幻想的な風景が浮かびあがります。また、人々とのあいさつ。毎日の登下校時に会おう人達からあいさつをされると、とても温かい気持ちになれます。このあいさつによって地域の人達の仲が良くなっているのではないかと思います。

私が思う北秋田市は、町の伝統行事を大切にする街、人々とのあいさつを大切にする街です。合川町の良いところを残しながら、明るい北秋田市になってほしいと思います。

合川町がなくなるのはさみしいけど

北秋田市に・たくさんの期待が・膨らみます

新たなスタート

佐藤 明香さん
(合川・合川高校一年)



生まれてから今まで合川町で育ってきた私にとって、町名がなくなり北秋田市に変わってしまうことは、少し寂しいことです。

しかし、北秋田市になることによって四町の良い所を吸収し合い、私たちにとって住みやすい市になればいいと思います。

私は市町村合併をすることにより教育や福祉、医療などがこれまでのように個々の町で運営するよりも手厚く、よりよいサービスを受けられるのではないかと期待しています。この地域には高齢者が多いので、北秋田市では老人福祉に力を入れてほしいです。北秋田市になることは新たなスタートだと思います。これからこの市が私の大好きな故郷になることを願っています。

合川の良さを引き継いで

福岡 美鈴さん
(合川・昭和58年生まれ)



私が慣れ親しんだ合川町が三月でなくなり、「北秋田市」という一つの市になります。私は合川町が大好きなので合併するとなった時は、とても寂しい気持ちになりました。

短大入学と共に秋田市に移り住んだのですが、二年間の学校生活を終え、また合川に戻って来ました。やはり、離れてみると地元の良いさがわかるものです。

平成十九年の秋田わかすぎ国体では、私がずっとやってきたフェンシング競技が合川で行なわれます。合川町という名前がなくなるけれど、私が生まれ育った所で大会が行なわれることがとても嬉しいのです。北秋田市になっても、この町の良い所をずっと残しつつ、明るく楽しい市になつたらいいなと思います。

期待をする北秋田市

後藤 裕哉さん
(下杉・昭和56年生まれ)



2003年から始まった「平成の大合併」。合川町も合併するという話は、遠く長野県に住んでいても耳にすることができました。

自然と触れ合い育った幼少期。そこにいる事が当たり前すぎて、他の地域に興味を持った中学・高校時代。帰るたびに懐かしい匂いを感じる大学時代、そして今。合川町で育ったからこそ、今の自分が存在しています。

名前が無くなるのはとても名残惜しく感じます。たとえば名前が変わったとしても、合川町の郷土が育んだ、私たちの(らしさ)が活きる事で生まれる(北秋田市らしさ)どんな素晴らしいものになるのか非常に楽しみにしています。

さよなら、あがとう合川町

櫻田 豊久さん
(李岱・昭和29年生まれ)



もうすぐ「北秋田市」が誕生する。新市が誕生する喜びの一方で、合川町が誕生して50年の節目に合川町が閉じることには寂しさを感じる一人である。町民のだれしもがこの地域に愛着を感じ、心のよりどころとして慣れ親しんできた合川町への思いを永遠に忘れることはない。また、このような郷土を築いてくれた先人達へ感謝を申し上げたい。

この地で生まれ育った私の胸には皆さんと同じように思い出がいっぱい詰まっています。特に、小学校時代のことや脳裏に浮かぶ。とにかく子供が多かった。運動会になると地域住民のほとんどが応援にかけつけ、昼休みはお重料理のオンパレード。だれが主役かわからないほど宴会が盛り上がったように思う。

私が住んでいる李岱地区は、「中学校」や「映画館」、

「市日」があり、大変賑やかで、地域に活気があったと聞いているし、実際そうであった。だが、そんなことを子供たちに話しても信じてもらえない。地域がいかに衰退しているかの証でもある。時勢やむをえないことも知れないが、このままだと地域への「思い」までもが失われていくような気がして心配でならない。合併したからといって「新市」にすべてを依存しては、地域の活性化はありえない。やはり、この合川の地から立派な枝葉が育つよう「誇れる郷土」づくりを新市「北秋田市」へ期待したい。

メッセージは各学校から一人・フェンシング国体受入関係者・広報題字を書いた人・合川町と同じ年齢の人の中から1人ずつお願いしました。



合川町の木・梅

を振り返って



広報あいかわ創刊号

- 昭和30年 3・31 下小阿仁村、上大野村、下大野村、落合村の四村が合併し合川町が誕生。
4・30 新町初の選挙で町長に畠山義郎氏。
10・1 国勢調査実施。人口12、519人。
10・19 駅前的大火によって合川駅舎をはじめ、37戸が消失。
昭和31年 5・12 駅前二度目の大火。23世帯、51棟焼失。
昭和32年 6・22 阿仁川橋（本橋）が落下。東西のかけ橋が不通となる。
7・13 駅前に役場新庁舎が落成。これと同時に東・北出張所を廃止し本庁に収拾する。
11・1 診療所を整備して町立合川病院とし、内科、外科、小児科を設ける。45床。
11・4 木戸石で21世帯焼失。
11・8 町内初めての永久橋として県道芹沢橋竣工。
昭和33年
- 開校。
4・1 合川南保育所開設。
6・26 三木田で3世帯が全焼。
11・15 町民体育館が竣工。
昭和38年 6・5 県道三里橋竣工。
12・10 合川中学校新校舎完成。
昭和39年 4・12 木戸石で6世帯焼失。
4・24 秋北バスの大野台環状線開通。
昭和40年 4・20 阿仁合線大野台駅開業。
11・21 国鉄阿仁合線上杉駅開業。
10・1 国勢調査実施。人口1、083人。
昭和41年 1・29 県道鎌沢橋竣工。
9・17 町議会で「社会福祉宣言の町」決議。
昭和42年 4・11 三木田で10世帯焼失。
10・10 合川町の木を公募したところ「梅」に決まる。
12・26 社会教育と生活経済のセンター
- 昭和49年 1・ 有史以来の豪雪に見舞われ、各所に被害を受ける。
8・26 合川消防署で救急業務を併せて行うため救急車を配置。
12・14 合川南小学校鉄筋校舎竣工。
昭和50年 10・1 国勢調査。人口9、578人。
昭和51年 11・14 第一回合川町産業文化祭を開く。
11・20 合川南保育園竣工。
昭和52年 10・27 町役場新庁舎竣工。
昭和53年 5・10 秋田県立営農大学校開校。
8・20 第一回合川町健康まつり。小畑勇二郎知事を迎えて盛大に開かれる。
昭和54年 3・3 第一回県民歩くスキの集いが大野台ハイランドで開かれる。
7・27 集中豪雨襲う。
昭和55年 4・6 降雨、雪どけ水により河川が氾濫。浸水が127世帯に及ぶ。
10・1 大野台工業団地に第一号の進出企業が決定。非鉄金属箔の専門メーカー―東洋精箔株式会社（本社千
- 7・22 町営の宅地造成団地「松ヶ丘団地」250区画の分譲開始。
10・1 国勢調査実施。人口9、309人。
昭和61年 11・23 合川町中央駐車場が竣工。
昭和62年 6・26 合川町敬老祝金条例を制定。七月一日、99歳の3名に白寿祝金を贈呈。
昭和63年 4・ 駅前地内の民間ボーリングで温泉が湧出。
10・23 合川西部農免道路が完成。
昭和64年 4・1 秋田内陸線が開通。
平成2年 3・ 北欧の杜公園整備構想が具体化。
10・1 国勢調査実施。当町人口8、968人。
10・19 阿仁川筋農道が開通。
12・23 畠山義郎氏、町長10選。
平成3年 9・28 台風19号が猛威をふるう。町では30億円を超える被害。
平成10年 6・14 あきた北空港開港。盛大な記念イベントが開かれる。
平成11年 3・23 15歳以下の方がいる世帯主、65歳以上の方に地域振興券2万円が交付。
平成12年 3・4 麻生バイパス（増沢〜二ツ井間）開通。
10・1 国勢調査実施。当町人口7、963人。
平成13年 6・22 三里バイパス開通。
平成14年 8・4 集中豪雨で被害。土砂崩れや、比内地鶏に被害。
12・23 新町長に佐藤修助氏（59歳）。投票率88・65%。
平成15年 6・1 役場総務課に拉致問題支援窓口を設置。

合川町50年

- 3・23 豪雨被害により、鎌沢橋、阿仁川橋（仮橋）、新田目橋が流失。
- 3・27 合併後最初の町議会議員選挙が、四地区毎の小選挙区で執行され、26人の新町議会議員を選出。
- 4・1 合川西保育所開設。
- 5・1 合川北保育所開設。
- 昭和34年 1・10 合川営林署が業務を開始。
- 4・1 合川東保育所開設。
- 5・22 県道阿仁川橋が竣工。
- 昭和35年 3・24 川井で8世帯が焼失。
- 5・18 県道高長橋が竣工。
- 7・29 道域で11棟焼失。
- 9・1 南・北・西中学校を統合して合川中学校が発足。生徒数600人。教職員29人。西校舎、南校舎、北校舎ごとに授業。
- 10・1 国勢調査実施。人口12、087人。
- 11・23 李岱で6棟全焼。
- 昭和36年 8・27 合川中学校が実質統合。
- 10・21 李岱で5世帯全焼。
- 昭和37年 4・1 秋田短期大学付属合川高等学校
- 昭和43年 4・8 合川町公民館、合川マーケットが竣工。
- 昭和44年 3・31 町内最初の鉄筋コンクリート三階建て合川東小学校改築工事竣工。
- 8・20 町道杉山田橋竣工。
- 昭和45年 6・1 鷹巣、合川地区消防署合川出張所発足。
- 10・1 国勢調査の結果本町の人口は9、946人。
- 昭和46年 9・1 合川中学校で給食開始（一食65円）。
- 11・7 合川北小学校鉄筋校舎竣工。
- 昭和47年 4・1 合川高等学校が広域圏五カ町村の組合立高校として開校。
- 7・7 集中豪雨により大水害発生。床上浸水123戸。
- 8・14 阿仁川河畔にはじめてマトビの灯がともる。
- 昭和48年 12・23 合川西小学校鉄筋校舎竣工。
- 葉市。
- 10・1 国勢調査実施。本町人口9、587人。
- 昭和56年 8・14 合川マトビにあわせて第一回ふるさと祭りを開催。
- 8・23 台風15号当町を襲い住家24戸、学校施設、葉タバコなどに大きな被害。
- 10・12 役場内に冷害対策本部を設置。二年連続の冷害。
- 昭和57年 5・31 農村環境改善センターが竣工。
- 12・25 合川町国民健康保険診療所が竣工。
- 昭和58年 5・26 日本海中部地震発生。男鹿加茂青砂海岸で社会見学中の合川南小学校の児童が遭難。13名の児童が殉難するという悲しい事故が発生。
- 昭和59年 10・29 鷹角線の第三セクター運営のための秋田内陸縦貫鉄道が発足。
- 12・17 史上最高といわれる大豊作になる。県北部稲作は平年の113%。「102、408俵の出荷が終了」と行政報告。
- 昭和60年 7・21 NHKのど自慢大会を町民体育館で公開録画。ラジオ体操生中継放送など一連の行事でにぎわう。
- 平成4年 6・27 安部欣哉さん（増沢）が、バルセロナ五輪フエッティング競技に出場決定。
- 12 阿仁川橋竣工。
- 平成5年 4・1 合川中学校新校舎でスタート。
- 8・9 異常気象対策本部設置。9月に冷害対策本部に切り替え。
- 平成6年 11・1 三木田バイパス開通。
- 12・23 新町長に金田陽太郎氏（48歳）。
- 平成7年 7・1 中学校向いに町民プールがオープン。
- 10・1 国勢調査実施。当町人口8、546人。
- 10・4 合川橋開通。光とメロディの新しい橋。
- 平成8年 5・23 平成19年秋田国体フエッティング競技の開催地に正式決定。
- 11・1 鎌沢バイパス開通。
- 9・30 鷹巣町・阿仁町・森吉町・当町による任意合併協議会が発足。
- 平成16年 2・9 鷹巣阿仁地域合併協議会（法定協議会）を設置。
- 4・27 町道東根田下杉線の一部が開通。
- 6・2 合併協議会で新市名を「北秋田市」に決定。
- 8・9 集中豪雨が当町を襲い多大な被害。土砂崩れなどの被害が100力以上。
- 11 新潟中越地震被災者に当町から139万3、057円の義援金。
- 平成17年 1・4 合川町最後の成人式。新成人は80人。
- 3・18 合川町閉町式。
- 3・22 北秋田市誕生。合川町、鷹巣町、森吉町、阿仁町が合併。



合川町の町名の由来にもなったと言われる「阿仁川」と「小阿仁川」の合流地点。

夢たくす、未来の秋田に、この一票

4月17日(日)は、秋田県知事選挙の投票日です



投票ができる方

今回の秋田県知事選挙で投票できる方は、

◇年齢

昭和60年4月18日以前に生まれた方

◇転入

平成16年12月30日以前に北秋田市区域内(合川町・森吉町・鷹巣町・阿仁町)に転入の届出をした方で、引き続き北秋田市区域内(合川町・森吉町・鷹巣町・阿仁町)に居住している方。

投票所

投票は、合併後も引き続き従来 of 投票所で行います。

期日前投票

投票日当日(4月17日)に旅行する場合や、病気などで当日投票所に行けないことがわかつている方は期日前投票制度をご利用ください。

今回の選挙で期日前投票のできる期間は、

◇北秋田市選挙管理委員会(現在の鷹巣町役場内)

で4月1日~16日までの期間、午前8時30分から午後8時です。

※合川支所(現在の合川町役場)の期日前投票の期間及び、時間等については、改めてお知らせします。

不在者投票制度をご利用ください

不在者投票には、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で行う場合と、指定病院や指定施設で行う場合があります。

◎他町村等の選挙管理委員会で行う場合

町外に滞在されている人は、請求に基づき本人に投票用紙が郵送されます。これを滞在先の選挙管理委員会に持って行き、投票します。郵便の中には投票用紙の外、開封厳禁の証明書などが入っていますので、同封の注意書きをよく読んで無効にならないよう十分注意してください。

◎指定病院や指定施設で行う場合

不在者投票のできる指定病院・施設では病院長や施設長に申し出れば、不在者投票に必要な一切の手続きをとってくれることになっています。

北秋田市長選挙について

3月22日に森吉町・鷹巣町・合川町・阿仁町の新設合併により、北秋田市が誕生します。これに伴い、公職選挙法第三十三条により、新市長選挙を50日以内(5月10日まで)に行うことになりますが、

●ゴールデンウィークの投票を回避することができ。

●投票に要する手続が1回で済む。
等のメリットから、秋田県知事選挙と同時選挙を予定し、準備に入っております。

くわしくは、改めてお知らせします。

選挙についてのお問い合わせは

○3月21日まで

合川町選挙管理委員会 (☎782100)

○3月22日から

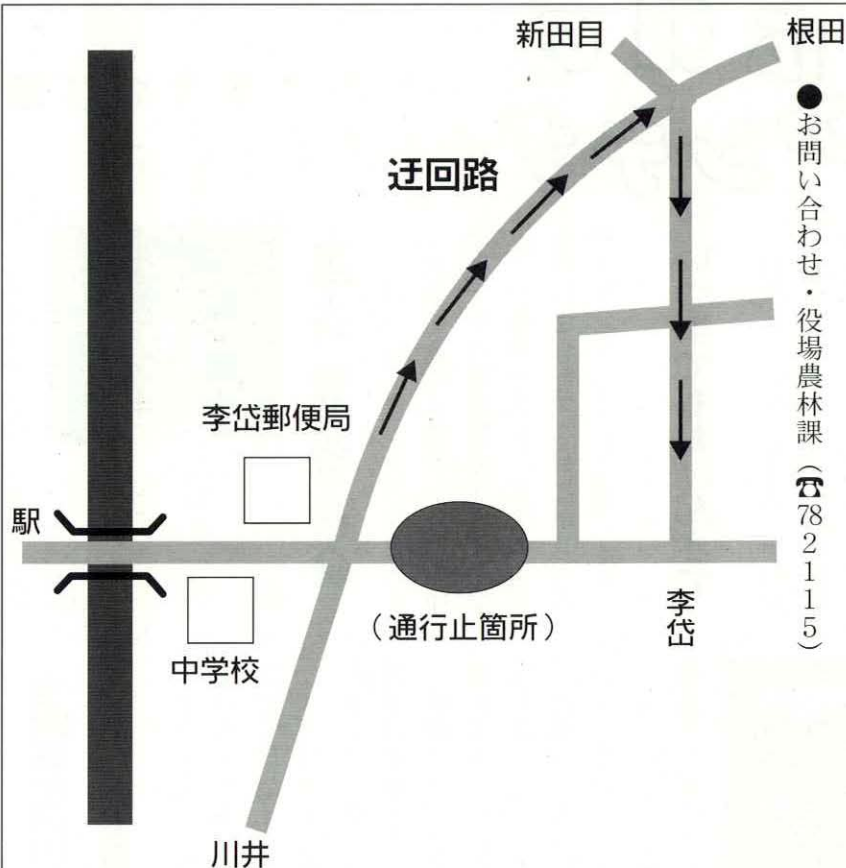
北秋田市選挙管理委員会 (☎621111)

工事による通行止にご協力ください

農業集落排水事業工事のため、李岱の一部地区で通行止になります。町民の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、ご協力ください。

- 期間 2月28日～3月17日（予定）
- 時間 午前8時30分～午後5時
- 箇所 李岱郵便局付近李岱入口

● お問い合わせ・役場農林課（☎782115）



平成17年3月22日以降、

「北秋田市」の新しいものを随時、郵送します。

合併後、医療機関などに提示する各種医療受給者証等が変更になります。

新しいものを随時、郵送しますので、到着後からは新しいものを使用してください。

※住民の方による特別な手続きは必要ありません。

＜郵送されるもの＞

- 「国民健康保険証」（桃色又は若草色）
- 「老人医療受給者証（健康手帳）」（白色）
- 「福祉医療受給者証」（白色又は桃色又は青色）
- 「その他の各種受給者証」
 - ・ 国民健康保険高齢受給者証
 - ・ 国保、老人食事等減額認定証
 - ・ 国保、老人特定疾病療養受療証

※現在、交付済みのもののみ、郵送されます。
（遠隔、学生の被保険者証については、再度手続きが必要です）

＜注意事項＞

合併後に医療機関を受診する場合、北秋田市の「各種受給者証等」が届くまでは、旧合川町から交付済

のものを使用してください。

＜古い受給者証の処分について＞

細かく切ってゴミに出す、焼却するなど、悪用されないよう、各自をお願いします。

＜学生で保険証を分けている世帯＞

3月中は旧合川町の保険証が使用出来ますので、4月以降も必要な場合は在学証明書と新しい保険証を持参の上、各支所窓口で手続きが必要です。

＜新しいものが届かない場合＞

4月になっても届かない場合は各支所まで連絡してください。

問い合わせ先：鷹巣町役場

福祉保健サービス課国保・年金係

☎0186-62-1111（内線145）

合併後 北秋田市（本所） 保険課

☎0186-62-1111

合川支所 ☎78-2113

全国大会、東北大会で上位入賞

2月10日、今シーズン各スキー大会で上位入賞をした合川中学校2年の御処野光沙さん（鎌沢）が役場を訪れ、大会の報告を行いました。3月にはジュニアオリンピックにも出場します。



県選抜のリレーで全国4位に

いつまでもおげんきで

岩澤トミさん（李岱）が白寿を迎えられました。岩沢さんは明治39年生まれの99才、町内では3番目の長寿です。いつまでも健康で元気でいてください。



合川町では3番目の長寿です

全国誌が合川の味を紹介

合川産の比内地鶏

2月中旬、NHKで放送されている「きょうの料理」の月刊誌「NHKきょうの料理3月号」に、合川産の比内地鶏が紹介されました。紹介されたのは、養鶏家の後藤久美さん（下杉）。誌面では、「鮮やかな赤い顔と艶ある羽、それがおいしさと安全の証」「北の大地でのびのび育った鶏は、肉のしまりも上々、かみしめるとじゅわわんと口いっぱいに広がる肉汁もこれまた絶品」と紹介されました。



紹介された「きょうの料理3月号」

おてまえちゃうだいたいします

保育園「さよならお茶会」

2月26日、あいかわ保育園で「さよならお茶会」が開かれました。安部綱江園長が「今日で最後のお茶会ですが、ひなまつりの楽しいお茶会にしましょう」と園児達にお話。

年長児は、自分で作った茶碗でお茶を点て、飲みました。感想は？と聞かれ「いつものよりおいしい」と自分で作った茶碗で飲むお茶の味は格別のようにうた。最後にはおかあさん、おとうさんにもお茶をもてなし、親子大満足の楽しいお茶会になりました。



自分で作った茶碗でのお茶は「おいしいね」

一面銀世界、北欧の杜でスキー

県民歩くスキーのつどい

2月27日、北欧の杜公園で第25回県民歩くスキーのつどいが開かれました。参加者は県内各地から約450人。時折、吹雪が吹く天候でしたが、皆さんさわやかな汗を流していました。競技終了後、自分のゼッケンで、合川特産のお酒や比内地鶏のキリタンポセットなどが当たる抽選会が行われ、多いに盛り上がりしました。



→抽選に熱い視線が注がれました



←広い大地は気持ちがいいですね

統合2年目となった子育て支援室「あいあい」も地域の皆さんと共に徐々に安定した活動を行うことができました。

今年度は保護者のニーズに応え、園開放を月2回に増やし保健センターの「ふれあい広場」と交互の活動ができ、園児交流、育児講座、育児情報誌発行、そして子育て相談なども対応しています。

地域と出向いての「出前保育」を実現でき一歩前進できたと思いますし、また一時保育も昨年より3倍の利用者で(延べ190人)定着してきました。出産後の育児不安や悩みを抱えているお母さん達「あいあい」は皆さんの広場です。気軽に参加し一緒に子育てを楽しんでみませんか。

「あいあい」はあいかわ保育園子育て支援室の愛称です

☎78-9030 Fax78-9031

ホームページ

<http://www.town.aikawa.akita.jp/hoikuen/home.html>



「あいあい」です

こんにちは



お母さんの声

— あいあいに参加して —

同じ子どもの親同士が集まるので親と子が一緒になって楽しくみんなと交流できるのでとてもよい機会だと思う。

心配ごとがあっても先生達が真剣になって話を聞いてくれるのでありがたい。

保育園に入る前の準備段階で、子どもにとっても親にとっても、いろんなことを学べるのでいい。

この会で学んだことは家に帰っても、子どもと一緒に楽しんでいる。

一時保育もご利用下さい

未入园児が家族の入院、外出、農作業、リフレッシュ、冠婚葬祭などの理由で乳幼児の保育をする有料制度です。

No.6 「おいで いっしょに あそぼうよ！」



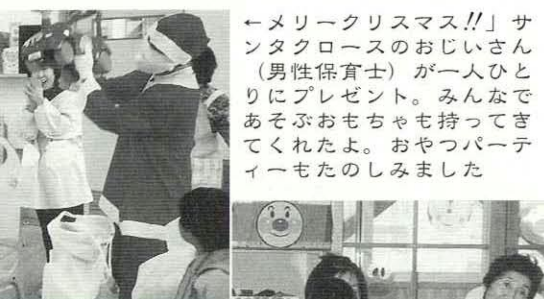
「ピッコロおはなし会」の皆さんによるお楽しみ会
園児と一緒に「パチパチおもちゃね、たのちね」

↓「手作りおやつ試食会」かぼちゃプリン「このかぼちゃは保育園の『ふれあい農園』でとれたんですよ」



↑羽根山地区訪問保育。手作りおもちゃや絵本、手あそび、ブロックあそびも楽しみました。

→雪がいっぱいふったので雪だるま作り、そりすべり、みかん拾いもたのしかったね。(赤ちゃん達は室内あそびでした)



←メリークリスマス!! サンタクロースのおじいさん(男性保育士)が一人ひとりにプレゼント。みんなであそぶおもちゃも持ってきてくれたよ。おやつパーティーもたのしみました



あいあいのテーマソング、朝のうたもじょうずにまねっこできるよ



しろつ

No. 248



グループで意見交換する参加者の皆さん

活力ある地域づくりを

合川いきいき女性セミナー

2月5日、農村環境改善センターで、町婦人団体連絡協議会主催による「合川町いきいき女性セミナー」が開かれ、約80名が参加しました。

このセミナーは、地域における問題解決や、住みよい町づくりのために女性が一同に会して話し合い、活力ある地域づくりを目指すという毎年開かれています。

開会式では、町消費者の会会長の土濃塚節子さんが「合川町としては最後のセミナーとなるが、よりよい地域づくりに向け、日頃の思いを率直に出し合って欲しい。」とあいさつ。

続いて佐藤町長が「合川町誕生以来、皆さんのこうした活動が現在の合川町を作り上げてきた。その町がなくなるのは寂しいことだが、これを土台に新しい町づくりをしていくことが大切。皆さんには今後大いに活躍を期待したい。」と述べました。この後には、町長らを助言者として「地域づくり」「豊かな環境づくり」「安全な食生活」の3つのテーマについてグループ討議が行われ、これからの地域の在り方について皆さんの意見がだされました。

話し合いのテーマと

主な提言・要望

地域づくりについて

- ・社協前の駐車場に遊具を設置し住民のふれ合いの場にして欲しい
- ・学童保育の継続
- ・冠婚葬祭の簡素化の推進
- ・内陸線の乗車運動をして存続を
- ・地域に子どもが少なくなり、ふれ合いの場がなくなった（発表会等に招待されるとうれしい）

住みよい環境づくりについて

- ・マイバツクの持参推進
- ・ごみの分別のマナーが悪いので、ごみ処理場の一般見学の機会を作ってはどうか
- ・ごみ集積所のリサイクル用ネットを増やして欲しい
- ・北欧の社公園の冬期間利用についてPRが必要（イベントの開催など）

安全な食生活について

- ・地産地消に消費者も協力して欲しい
- ・冬期間は野菜が少なくなるので夏場の多い野菜を冬場に利用するように保存方法を考えるとよいのでは
- ・合併後も学校給食は現在の体制を維持してほしい

合川町芸文協 新春交流会

2月19日、農村環境改善センターで、合川町芸術文化協会の新春交流会が行われ、同会の会員や来賓約40名が参加しました。

開会にあたって、佐藤泰子会長が「4町の芸文協の集まりが近く開かれる。それをもとに皆さんと話し合って、楽しい活動が続いていきたい。」とあいさつ。

武石館長が「地域活動の拠点としての公民館活動はこれからも継続していかねばならない。今後芸術文化に対するますますの取り組みをして欲しい」と述べました。

この後、昼食を交えながら、各団体が舞踊や民謡、コーラスなどを披露し合い、華やかな会となりました。



ステージ発表を楽しみながらの会食

町民体育館竣工記念フェンシング大会

～小中学生が熱戦を展開～

合川町町民体育館竣工記念フェンシング大会が、2月20日合川町町民体育館で行われ、参加した小中学生約50人が熱戦を繰り広げました。

競技前には、岡野隆さん（H16全日本フェンシング選手権大会フルーレ個人優勝）と安部欣哉さん（増沢出身・バルセロナ五輪代表）の模範試合や、澤田聡氏（日本代表監督）による実技講習が行われ、日本のトップフェンサーの豊かな経験と卓越した技術に触れることができる、有意義な機会となりました。

H19年秋田わか杉国体のフェンシング競技開催に向け、町民体育館では今後もフェンシング大会の開催が予定されております。ぜひご覧下さい。

～合川町フェンシングスポ小からの入賞者～

小学校男子の部 準優勝 桜井 和巧 5 位 佐藤 秀貴 小学校女子の部 6 位 佐藤 春日
中学校女子の部 5 位 福田美香子 6 位 佐藤 美咲



手に汗握る熱戦が繰り広げられました

第2回ろばた講座

「もっと元気を出そうよ

—政治、経済、社会の断面—

ジャーナリスト 石川嘉明 氏

2月3日、農村環境改善センターで、第2回ろばた講座が開かれました。

講演では、日本の政治や経済の特徴を紹介しながら「政治は国民に近づき、国民も政治を身近なものとして見なければならぬ。」「合併後、特例法の切れる10数年後に向けて、首長の経営手腕が問われていく。」

「家庭消費の不振は、基礎年金など社会保障への不安が一因となっている。また、オイルショック時にワークシェアリング方式で仕事を分かち合い雇用を確保することで、世界でいち早く回復したかつての日本と比べ、現在の不況は従業員の削減という策で乗り切ろうとしており、このような方策も家庭の不安となって消費を落ち込ませている。」などと述べられました。



講師の石川さんと、講演に聞き入る参加者の皆さん

第3回ろばた講座の御案内

今年度最後の開催となります。たくさんの参加をお待ちしております。

日 時 平成17年3月8日（火）

午後1時30分～

場 所 合川町農村環境改善センター

テーマ 「町長と語る会」

講 師 合川町長 佐藤 修助

であい・ふれあい・学びあい

簡単・手作りフラワーボックス講座



講師 中村 幸雄さん

公民館冬期講座トピックス

そば打ち体験講座



講師 陽気な母さんの店の皆さん

公民館
図書室
ライブラリースポット

3月22日より四町村合併に伴い図書室も「北秋田市合川公民館図書室」になり、本の貸出し期間が、2週間から10日間となります。

○開閉時間

月曜日～日曜日

午前8時30分～午後9時

冬期間は午後8時まで

○帯出利用

図書の出借は一人3冊まで

10日間です。

今後とも、たくさんの方のご利用をお待ちしております。

今月の新着図書紹介

☆一般書

「近藤典子の収納の基本」

近藤 典子

「グランド・フィナーレ」

阿部 和重

「電車男」

中野 独人

「黒冷水」

羽田 圭介

「対岸の彼女」

角田 光代

「15歳からの成功哲学」

小俣 治郎

「身回りの不思議」

いもと よつこ

ぎもんランキンング

ぎもんランキンング編集委員会

「小さなくれよん」 篠塚 かをり

「デイビットがやっちゃった」

デイビット・シヤノン

☆寄贈書

「セイジ」、 「親の捨て方」

藤嶋 恭子さん

（木戸石）

新田 チマさん

（合川）

「インストール」他

吉田 裕子さん

（川井）

「石ころに語る母たち」

福岡 史恵さん

（三里）

ありがとうございます。



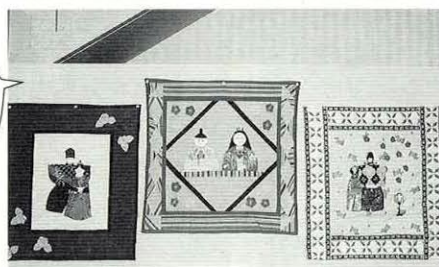
芥川賞受賞作「グランド・フィナーレ」
直木賞受賞作「対岸の彼女」

ロビー展開催中

農村環境改善センターロビーにおいて、公民館自主講座・サークル団体等で製作された作品を展示しています。どなたでもお気軽にご覧下さい。

只今、
展示中

パッチワーク
金木犀の会
代表 鈴木孝子さん



立春の一句

合川俳句会

川と川触れて落ち合ふ冬景色
軒下の雀のさわぐ寒の明け
冬霧にコーヒー薫る朝の車
まなうらをゆさぶる夢や寒月光
葉と手に母に真似たし凍み大根
春北風白津の峰も吹きゆがむ
庭の松あらわに寒の匂いたつ
吐く愚痴に笑顔のかえる置炬燵
雲に雲重なりあいてだみ汁
寒林は風を吸いつつ風をはく
着ぶくれて余生の余白埋めきれず

成田 つ紗
木村 キクエ
高谷 琴子
菊地 奈津
島山 チャ
佐藤 勇助
佐藤 貴美
櫻田 善太郎
杉渕 みどり
佐藤 阿智子
土佐 隆歩

生涯学習ボランティア募集中

～あなたの技術を生かしてみませんか？～

合川町公民館では、地域の皆さんの生涯学習活動を支援する事を目的とした人材登録リストを作成しています。現在21名が登録しており、町内の学校で主催する行事などで活躍中です。

わら細工・餅づくり・手芸など、自分の得意とすることを教えて下さる方を募集しています。生きがいづくり、新しい出会いの場づくりに、ボランティアをしてみませんか？

問合せ先：合川町公民館（78-2114）まで

お気軽にお尋ね下さい。

ふるさと俳句賞（合川俳句会主催）

町内小・中・高校生の応募作品537句から、特選と秀作をご紹介します。

小学校の部【特選】

プールでね思い出一つできたんだ
瑞巖寺門から見える秋の海

近藤 佳央里（西小六年）
柴田 優人（北小六年）

中学校の部【特選】

毛糸編むあの人のこと思いながら
秋風がテストの後の身にしみる

畠山 郁朱（合中二年）
櫻庭 旬二（合中三年）

高校の部【特選】

ただいまと言ってるような渡り鳥

石崎 優衣（合高三年）

小学校の部【秀作】

おきたらねゆきがすごいよあそびたい
冬休み楽しいことであふれてる
戦いだがんばればふんばれかぶと虫
がんばるぞひまわりを見て勇気わく
来春にこの手でつくる北秋田市

さとう ふゆ（東小一年）
大野 優太（東小三年）
菊地 剛平（西小四年）
杉 渕 香織（南小六年）
金 夏 望（東小六年）

中学校の部【秀作】

だんろよりきみの笑顔があたたかい
校舎から見える町なみ冬景色
太陽は秋が一番美しい

北林 実里（合中一年）
後藤 潤（合中二年）
桜庭 大志（合中二年）

高校の部【秀作】

堤防で未来を語り花火見る

佐藤 志穂（合高三年）

カラーテレビなどの電化製品と 折りたたみイス・机・テーブルを購入

宝くじ助成事業

町では、平成16年度のコミュニティ助成事業でコミュニティ活動に必要な設備の整備に関する事業として集落行事・地域生涯学習活動の自治コミュニケーションを促進する為に松ヶ丘自治会にカラーテレビ1台、ビデオデッキ（1台）、BSアンテナセット（1セット）、ブースター（1台）、オーブンレンジ（1台）、掃除機（1台）、折りたたみテーブル（8本）、折畳み椅子（24脚）及び集会用テント（1張）を購入しました。同助成事業は、宝くじの収益を財源に宝くじの普及、広報を図ることをねらいとして（財）自治総合センターが行っているものです。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

→このシールが目印



●折りたたみイス



●折りたたみテーブル



●テレビ・ビデオデッキ・電子レンジ

インフルエンザが 流行しています

出かけた後は、
手洗い、うがいわずに！

保健センターから

健康
メッセージ

138

男性のための いきいき健康実践から

2月18日ダンディ倶楽部のみなさんが保健センターに集まりました。ダンディなみなさんが選んだメニューは、調理実習と、工作。

午前中は、センター栄養士の指導で、カレーライス、デザートなどに挑戦。意外な包丁さばきや料理のコツなどを披露しながら、カレーを作りました。デザートを冷やすのには、冷蔵庫ではなく、外の雪の中に埋めてみたり、男性ならではの発想も出しました。

出来具合は上々で、お昼は、それぞれの家庭のカレーライスを紹介し合うなど、盛り上がりしました。



「盛りつけはこんなもんで、いいかな」



「お、結婚記念の写真っこ探さねばな！」

午後からは、写真立てを作りました。好きな柄の和紙を選び、それぞれ、丁寧に作業しました。完成が近づくにつれ、出来映えや、中に入れる写真の話題に花が咲きました。

お口の中は大丈夫ですか？

歯や口の中の健康管理は、健やかな心と身体をつくる基本であり、人間としての基本的欲求「食べる楽しみ」をいつまでも保つためにとても大切です。

保健センターでは今年度歯科衛生士の成田利美子さんに、高齢者の方を訪問し、入れ歯の手入れ、残っている歯や歯肉の管理について、専門

的な指導をしていただいています。普段あまり意識していなかった口の中について「なるほど……。」と考えを新たにする機会となっています。



残っている歯も長持ちさせましょうね。
(川井・吉田チエさんとお話しをする成田さん)

お知らせ

合併に伴い4月からの子ども各種健診及び予防接種の一部に変更があります。

健診に関しては、健診場所が、鷹巣会場、合川会場、森吉会場のいずれかになります。

どちらにつきましても、該当者には後日、改めて詳細をお知らせいたしますので、ご確認ください。

ふにち 山村留学 まとび学園

No.33

毎日の雪降りて、大人にはうんざりの生活も、子どもたちにとっては楽しさいっぱいの毎日です。地元の子どもたちよりも4日早い冬休みを終え、合川入りした子どもたちは、さっそくノルディックスキートの練習です。スキーを体験する子が2人、最初は歩けずヨタヨタしていました。坂の上り、下り、手の振り、先輩3人の動きを見ながら、繰り返し繰り返し練習です。思うようにスキーが動かず、転んだりの連続でしたが、なれるにしたがい、おもしろみも加わり、学校から帰ると自分からスキーを履いて外へ出るようになりまし



スキー大会がんばったよ

ができました。吹雪混じりの肌寒い日でしたが、たくさん皆さんの皆さんに応援していただいていた優勝でした。その後4年生以上の子どもたちは、米内沢大会、阿仁部スキー大会に参加し自分の目標とするタイムに挑戦しました。毎日の大雪にやぎ小屋の雪おろしや、センターの軒の除雪をしたり、かまくら作りやソリ乗りと雪国の生活体験をしています。森吉山の樹氷を見学に行ったのですが、吹雪で顔がチカチカ痛かったり、スキーで滑ってメカネが凍ったり、コースがすぐに見えなくなったりと貴重な体験もしました。天気良かったらいろんな形の怪獣(樹氷)が見られたのに残念です。重い荷物を背負った農家入りも最後になりました。最初は両手にも荷物があつたのに今はなし、有意義な2週間を過ごしてほしいと思います。農家の皆さん1年間ありがとうございました。



農家入り「イエーイ」



雪がたくさんで大忙し

合川高校

(このコーナーは合川高校で作っています)

感謝されることの喜び(除雪ボランティア活動)

2月8日(火)、除雪ボランティア活動は、①身近なボランティアを体験すること、②勤労の喜びや達成感を知ること、③体験から防災や高齢者福祉について考える機会とすることを目的に行われました。1年生93人は、合川町の27力所の一人暮らしや、高齢者世帯、障害者家庭の周辺を担当し、2年生54人は合川駅前周辺の消火栓と学校周辺非常口の通路確保のための除雪を担当して、心地よい汗を流すことができました。

活動終了後に生徒からは「地域の人と交流ができ、喜んでもらえて、やって良かったと思えるボランティアでした」、「すごい雪の量で、お年寄りが雪かきするのは大変なことだと思いました。除雪を終えた後に『本当にありがとう、本当に助かった』という言葉に感動しました」という感想が寄せられました。生徒達は、授業ではなかなか学ぶことができない、奉仕する心や地域の方たちとのふれあいに、多くの感動を得ることができた1日でした。



今年は例年にない大雪で、若い力はとても地域に役立ちました。

トピックス

住民基本台帳カード、電子証明書の手続きを一時停止します

市町村合併に伴う作業のため、基本住民カード、電子証明書の手続きが次の期間停止します。

●期 間 3月7日(月)～25日(金)

◇住民基本台帳カードの申請・交付

●期 間 3月22日(火)～25日(金)

◇広域住民票の交付◇住民基本台帳カードによる付記転出・転入◇電子証明書の申請・交付

■お問い合わせ

役場福祉課 (☎78-2113)

水質検査計画公開のお知らせ

町では、「平成17年度水質検査計画」を策定しましたのでお知らせします。

■お問い合わせ

役場建設課 (☎78-2100)

「北秋田市ガイド」を各家庭にお配りします

いよいよ今月22日、「北秋田市」が誕生します。新市の組織、各種手続きなどについてお知らせする「ガイド」を作ることになりました。3月中旬頃にはお手元にお届けしますので、お手元に届きましたらどうぞ一読ください。

●お問い合わせ

鷹巣阿仁地域合併協議会

(☎69-8088)

今月の上杉あいターミナルからのお知らせ

【今月の開館時間・休館日】

★開館時間 午前9時～午後5時

★休 館 日

3 / 4 (金)、5 (土)、12 (土)
19 (土)、20 (日)、26 (土)
27 (日)

(都合により休館日が変更となる場合もあります)

【問い合わせ先】

上杉あいターミナル (☎78-9290)

ホームページ

<http://www.kamisugi.jp/>

町が発注した公共工事です

町が発注した公共工事及び備品購入(契約額250万円以上)の入札および契約の過程についてお知らせします。

工 事 名 称	入札額(円) (消費税抜き)	落札業者
環境整備工事 (社会福祉協議会)	5,380,000	(有)赤石土木
合川浄化センター建設工事 外構工事(進入路)	6,930,000	(有)宗和
16災316号 町道東根田上街線道路災害復旧工事	6,200,000	(株)金田建設
16災317号 町道摩当沢線道路災害復旧工事	2,750,000	(株)金田建設
16災320号 町道羽根山沢線道路災害復旧工事	5,450,000	(株)佐藤庫組
16災321号 町道羽根山沢線道路災害復旧工事	5,350,000	(株)佐藤庫組
16災322号 町道羽根山沢線道路災害復旧工事	4,250,000	(株)伊勢組
16災323号 町道羽根山沢線道路災害復旧工事	2,590,000	(株)伊勢組

国民年金係から

平成十七年四月

年金制度が改正されます!

国民年金などの年金制度の改正が順次施行されることとなっています。例えば・

若年者納付猶予制度が導入されます。二十歳代の方は、本人(配偶者を含む)の所得が一定額以下の場合、申請により月々の保険料納付が猶予されます。(これまでは、所得が一定額以上の世帯主(親など)と同居している場合には、保険料免除の対象とはなりませんでしたが)仮に、障害や死亡といった不慮の事態が生じたときに、その月の前々月以前の一年間に保険料の滞納があると障害基礎年金・遺族基礎年金が受取れない場合がありますが、この若年者納付猶予制度の承認を受けている期間は、滞納の扱いとはなりませんので万一の時に安心です。また、満額の老齢年金を受取るために、その後十年間のうちに保険料を納付することが出来ます。(二年以上経過後は保険料に一定の加算がかかります。)

若年者納付猶予制度の対象となる年収の目安

	平成17年度の基準
4人世帯 (夫婦・子2人)	258万円
2人世帯 (夫婦のみ)	157万円
単身世帯	122万円

※本人だけではなく、配偶者も基準に該当している必要があります。
※4人世帯、2人世帯は、夫か妻のどちらかの方に所得(収入)がある世帯の場合です。

○国民年金についてのおたずね先

役場福祉課 (☎78-2113)

「広報あいかわ」の配布及び、送付の終了について

平素は町政に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。日頃から「広報あいかわ」をご高覧いただき、ありがとうございます。さて、合川町は平成17年3月22日をもって鷹巣町、森吉町、阿仁町と合併し「北秋田市」が誕生します。合併に伴い、本町広報紙の配布及び、送付は終了させていただきます。長年にわたりご愛読いただきまして、誠にありがとうございました。

平成17年3月吉日

合川町長 佐藤 修 助

予備自衛官補を募集します

予備自衛官補とは、自衛官未経験者が必要な教育訓練を受け予備自衛官となる制度です。予備自衛官は有事の際、防衛招集により後方支援等の任務にあたります。任期間中は手当が支給されます。

●試験日 4月17日(日)～19日(火)の内、1日が指定されます。

●受付締切 4月9日(土)

■お問い合わせ

自衛隊大館出張所

(☎0186-42-1398)

長期固定金利の住宅ローンです「フラット35」

「フラット35」は、住宅金融公庫がバックアップする民間金融機関の長期固定金利の住宅ローンです。

○最長35年間の長期固定金利

○融資限度額最高5,000万円

○保証料0円、繰り上げ返済手数料0円

○住宅の質を確保

○中古住宅の取得も対象になります

■お問い合わせ

住宅金融公庫東北支店

(☎022-227-5554)

ホームページ

<http://www.jyukou.go.jp/>

「広報あいかわ縮刷版」ができました

広報あいかわ縮刷版をご予約された方は、引替えをお願いします。

●期 間 3月1日～

●価 格 3,000円(税込み)

●会 場 役場総務課

●時 間 午前8時30分～午後5時

※土曜、日曜日、祝日も取り扱います。若干ですが在庫がありますので、予約していない方で購入を希望される方はご連絡ください。

■お問い合わせ

役場総務課 (☎78-2100)

合川町商工会青年部より電話帳修正のお願い

合川町電話帳(住宅地図付)

27ページ・ま行の部

松岡利富美さん 78-2855、

松岡 利一さん 78-2855は

誤記ですので抹消ください。

お詫び申し上げます。

合川町商工会青年部

ーお待ちしておりますー ひまわりの家

営業時間

午前8時30分～午後7時

(休館日) 7日、14日
22日、28日

イベント

佐藤昭夫ショー 3月6日午後1時～

三浦博美ショー 3月13日午後1時～

渡辺富美雄ショー 3月27日午後1時～

【問い合わせ先】ひまわりの家 (☎78-4025)

広報クイズ

次の問題の?にあてはまる数字やことばを考えてください。答えは、広報今月号の中にあります。

問1 合川町は鷹巣町、森吉町、阿仁町と合併し平成17年3月22日「????」が誕生します。

問2 「広報あいかわ」は平成17年3月号のNO. ???で終了します。

問3 合川町の平成17年1月末日現在の人口は????人です。

締め切り=3月15日(必着)

応募方法=答え、住所、氏名を明記してハガキ・ファックス・Eメールで応募してください

応募先=合川町役場(住所・郵便番号・ファックス番号・Eメールアドレスは、広報の最後のページをご覧ください)

正解者の中から、3人に500円相当の図書券をお送りします。当選者は、図書券の発送をもってお知らせします。

【前号の答え】問1. (10) 問2. (男女共同参画) 問3. (8)

【前号の当選者】金田サトさん(合川) 桜田佳希さん(木戸石)
(応募者4・正解者4)

慶弔 だより

(1月届け)

【お誕生おめでとうございます】

こども

両親

木村 ^{けい} 慶ちゃん 広 幸さん (松石殿)
千 春さん

【謹んでお悔やみ申し上げます】

福田 豊治さん 80歳 鎌 沢 武良さん父
櫻田 節子さん 56歳 東根田 正行さん妻
伊藤 チヤさん 94歳 杉山田 君子さん母
高橋 チサさん 86歳 合 川 エイ子さん母
浅野 ノエさん 81歳 李 岱 弦雄さん母
櫻庭 保隆さん 61歳 川 井 勝盛さん子
三浦 勝彦さん 64歳 三木田 香保子さん夫
金田 アキさん 94歳 羽根山 庫男さん母

【訂正とおわび】

広報前号の「慶弔だより」のなかで、誕生された方のお名前を誤って掲載しました。正しくは次のとおりです。訂正しておわび申し上げます。

こども

両親

小森 ^{みれい} 美玲ちゃん 定 美さん (合 川)
^{みれい} 麻衣子さん
(誤：小林 ^{みれい} 美玲ちゃん)

まち

平成17年1月末日現在

男 3, 734人(5人減)

女 4, 160人(6人減)

計 7, 894人(11人減)

世帯数 2, 983世帯(3世帯減)

合川町役場総務課

〒018-4272

秋田県北秋田郡合川町新田目字大野82-2

☎ 0186-78-2100

FAX 0186-78-3277

ホームページアドレス

http://www.town.aikawa.akita.jp

Eメールアドレス

soumu@town.aikawa.akita.jp

広報 あいかわ

No.560

平成17年3月7日

3月の広報カレンダー

保セ＝保健センター 農セ＝農村環境改善センター
町体＝町民体育館 保育園＝あいかわ保育園

日	曜日	行 事 な ど
1	火	第2回簡単なおかずづくり教室 (AM10:00～保セ) トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00～PM5:00保セ)
2	水	2才児歯科健診 (PM0:30～保セ) パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
3	木	パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
4	金	子育て支援「あいあい」(AM9:30～保育園) ことぶき大学卒業式 (AM10:00～農セ)、ポリオ投与 (PM1:30～保セ)
5	土	
6	日	
7	月	ヘルシークラブ (AM10:00～保セ) トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM9:00～PM5:00保セ)
8	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00～PM5:00保セ)、婦人会支部 長移動研修 (AM8:00～秋田市)、第3回ろばた講座 (PM1:30～農セ)
9	水	新入園児健康診断 (PM1:00～保育園) パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
10	木	在園児健康診断 (PM2:00～保育園)
11	金	ふれあい広場 (AM10:00～保セ) パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
12	土	
13	日	あいかわ保育園卒園式 (AM9:00～)
14	月	ヘルシークラブ (AM10:00～保セ) トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM9:00～PM5:00保セ)
15	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00～PM5:00保セ) 保育園年長児永楽苑訪問 (PM1:30～)
16	水	育児相談 (AM9:30～保セ) パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
17	木	リハビリ学級 (AM10:00～保セ)
18	金	町制施行50周年記念式典 (午前～役場) 合川町開町式 (午後～役場)、パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
19	土	
20	日	第23回小林大二郎旗杯剣道大会 (町体) 春分の日
21	月	振替休日
22	火	北秋田市誕生・開庁式 (AM8:00～本庁及び支所) トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00～PM5:00保セ)
23	水	パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
24	木	
25	金	パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
26	土	
27	日	
28	月	トレーニング機器開放日 (65歳以上) (AM9:00～PM5:00保セ)
29	火	トレーニング機器開放日 (一般) (AM9:00～PM5:00保セ)
30	水	パワーアップ教室 (AM10:00～保セ)
31	木	